

令和二年 第十七期くまもと俳句ポスト

第十七期開函

日本伝統俳句協会評議員 井芹 眞一郎 選

特選

城垣は復興半ば梅雨に入る

熊本県熊本市

山崎 綾子

【講評】

2016年（平成二十八年）の地震で大きな被害を受けた熊本城。地震以来4年になるが修復はまだ初期段階である。二十一年以上の歳月を要すると言われている。掲句は、その復興途中の崩れている城垣を仰ぎながら梅雨の時期に入る不安を抱かれたのであろう。

わが輩通り賞

小鴨翔つ水輪に淡き影残し

熊本県熊本市

鶴田 信吾

入選

参勤の通ひし旅所石露咲けり

熊本県熊本市

後藤 博文

淑気満つ法華太鼓や本妙寺

熊本県熊本市

菊池 一郎

解禁の空の回遊城は夏

熊本県熊本市

野崎 一雄

佳作

城垣にしがみつきたる草紅葉

鹿児島県薩摩仙台市

春田 眞未子

投句総数 八十三句

市外 十句

市内 七十三句

開函日 令和元年六月末日